

第2章 スポーツ指導者の意識

－「スポーツにおける環境問題・環境保護活動に関する意識調査」の結果－

石塚 創也¹⁾

I. はじめに

本章では、スポーツ指導者の「環境問題」「環境保護活動」に対する意識について把握するため、公益財団法人日本スポーツ協会（以下、「JSPO」）の「公認スポーツ指導者」に対して実施したアンケート調査結果の概要（速報値）を報告する。なお、本調査は中京大学倫理審査委員会承認を得て実施した（承認No.2020-38）。

対象とした公認スポーツ指導者は、全国に約61

万人おり、資格は「競技別指導者資格」、「フィットネス資格」、「メディカル・コンディショニング資格」および「マネジメント資格」に区分される他、これらの基礎として位置づけられる「スポーツ指導基礎資格」も設置されている（表1）¹⁾。

公認スポーツ指導者制度の目的は以下の通りである²⁾。

- (1) 公認スポーツ指導者によるスポーツ指導の体制を確立すること。

表1 公認スポーツ指導者登録者数（2020年10月1日現在）

資格区分	資格名	登録者数
スポーツ指導基礎資格	スポーツリーダー	416,199名
	コーチングアシスタント	1,131名
競技別指導者資格	スタートコーチ	696名
	コーチ1	120,060名
	コーチ2	11,571名
	コーチ3	22,739名
	コーチ4	6,689名
	教師	2,979名
	上級教師	1,082名
フィットネス資格	スポーツプログラマー	3,276名
	フィットネストレーナー	432名
	ジュニアスポーツ指導員	4,398名
メディカル・コンディショニング資格	アスレティックトレーナー	4,331名
	スポーツドクター	6,420名
	スポーツデンティスト	585名
	スポーツ栄養士	411名
マネジメント資格	アシスタントマネジャー	5,530名
	クラブマネジャー	387名
旧資格	スポーツトレーナー1級	22名
	スポーツトレーナー2級	48名
合計（スポーツリーダーを含まない）		192,787名
合計（スポーツリーダーを含む）		608,986名

1) 日本スポーツ協会 スポーツ科学研究室

- (2) 公認スポーツ指導者として求められる資質能力（思考・判断，態度・行動，知識・技能）に関する科目を体系的に編成した講習会等により公認スポーツ指導者を育成し，その資質能力の向上を図ること。
- (3) 公認スポーツ指導者育成の基本コンセプト，3つの方針（受講者受入方針・養成講習会実施方針・資格認定方針），資格の種類と役割及び権利と責務を明確にし，社会的信頼の向上を図ること。
- (4) 地域別，競技別，種類別等，公認スポーツ指導者相互の連帯を深め，活動促進を図ること。

また、「公認スポーツ指導者」の定義は以下の通りである³⁾。

JSPO及びJSPO加盟団体等が育成する公認スポーツ指導者とは，スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し，プレーヤーズセンタード⁴⁾の考え方のもとに暴力やハラスメント等あらゆる反倫理的行為を排除し，常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して，豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる者である。

さらに，公認スポーツ指導者の責務として，以下の通り掲げられている。

- (1) 「スポーツ宣言日本」の趣旨を理解した上で，スポーツ医・科学の知識を活かし，「スポーツを安全に，正しく，楽しく」指導し，「スポーツの本質的な楽しさ，素晴らしさ」を伝えること。
- (2) プレーヤーズセンタードの考え方のもとに，プレーヤーの

望むスポーツ活動を理解し，その成長を支援すること。

- (3) プレーヤーや社会に対する自己の影響力を認識し，常に自己研鑽を図り，自ら成長・発展すること。
- (4) JSPO倫理規程を遵守するとともに，遵守事項に違反する行為（反倫理的行為）に関する調査に誠実に協力すること。
- (5) スポーツの価値や未来への責任を理解し，スポーツの力を望ましい社会の実現に活かすために努力すること。

以上に基づけば，公認スポーツ指導者は，前章で取り扱った加盟団体と同様，「スポーツ宣言日本」に記された「環境と共生の時代を生きるライフスタイルの創造に寄与」⁵⁾するとともに，スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し，豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献することも求められていることがわかる。したがって，公認スポーツ指導者は，持続可能性の基礎・前提である「環境保護」に関する取り組みを自主的・自律的に推進しなければならない立場にあるといえる。

Ⅱ. 調査方法

調査は，JSPOの「指導者マイページ」に登録している公認スポーツ指導者112,779人を対象に実施した。対象者には，メールで調査依頼とWeb回答フォームのURLを送付し，任意での回答を求めた。（調査票は本章末尾 p.22-27参照）。

<調査実施概要>

調査名：スポーツにおける環境問題・環境保護活動に関する意識調査

調査時期：2021年2月17日～3月10日

調査対象：公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者のうち「指導者マイページ」に登録している112,779名

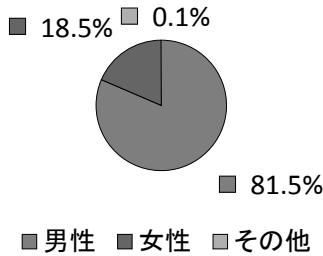
調査方法：Web調査（Web回答フォームをメールで配信）

回答数：7,243（6.4%）

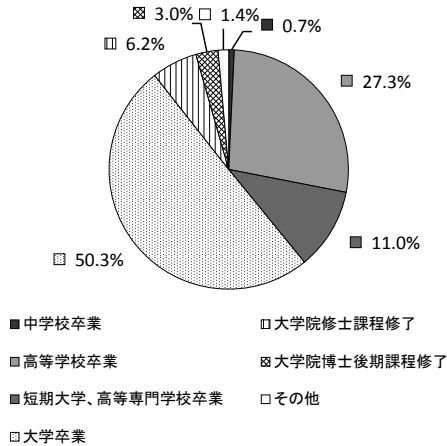
調査委託業者（回答の回収等）：マイボイスコム株式会社

Ⅲ. 調査結果（速報値）

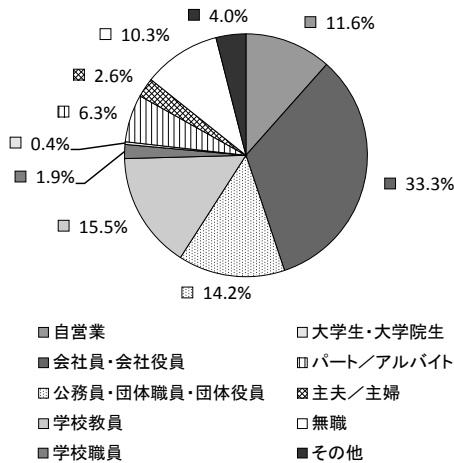
1. 性別（n = 7243）



2. 最終学歴（n = 7243）



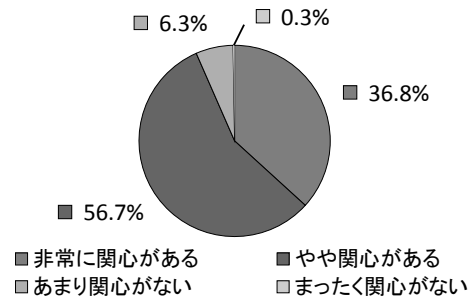
3. 職業（n = 7243）



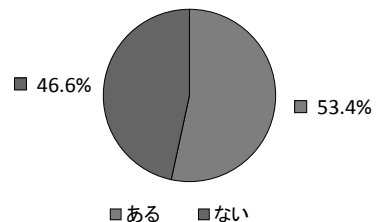
4. 保有指導者資格（n = 7243）

保有指導者資格	%
コーチ1（旧：指導員）	50.3
コーチ2（旧：上級指導員）	10.2
コーチ3（旧：コーチ）	15.0
コーチ4（旧：上級コーチ）	4.7
教師	4.7
上級教師	1.0
スポーツプログラマー	2.8
フィットネストレーナー	0.4
ジュニアスポーツ指導員	5.5
アスレティックトレーナー	3.2
スポーツドクター	3.7
スポーツデンティスト	0.7
スポーツ栄養士	0.6
アシスタントマネジャー	5.6
クラブマネジャー	1.1
コーチングアシスタント	4.7
（旧資格）スポーツトレーナー	0.3
スタートコーチ	1.9
その他	2.6
合計	100.0

5. あなたは環境問題や環境保護活動に関心はありますか。（n = 7243）

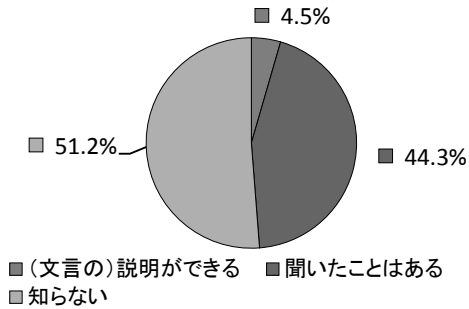


6. あなたはこれまでにスポーツと環境問題や環境保護活動の関係性について考えたことはありますか。（n = 7243）

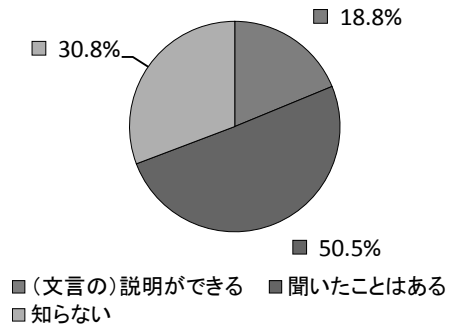


7. あなたは次の言葉を知っていますか。
(n = 7243)

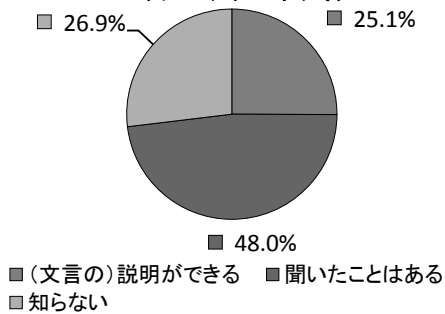
国連環境計画
(United Nations Environment Programme: UNEP)



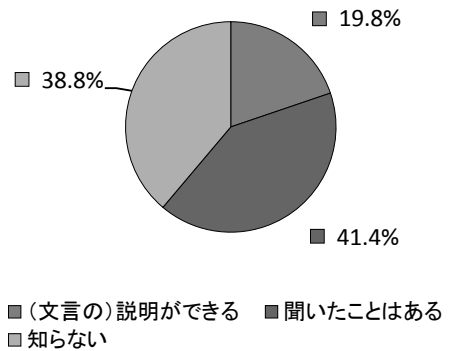
ISO14000(規格群)



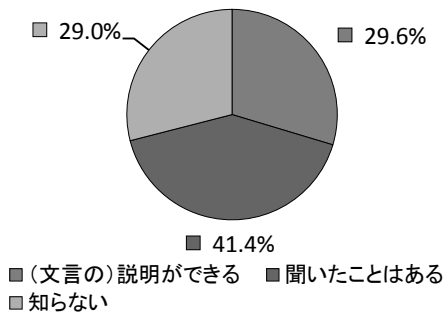
持続可能性
(サステナビリティ)



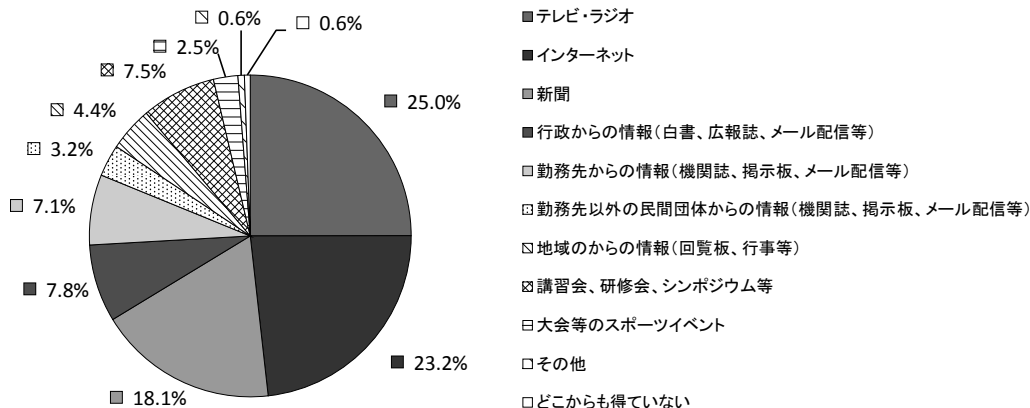
カーボン・オフセット
(カーボン・ニュートラル)



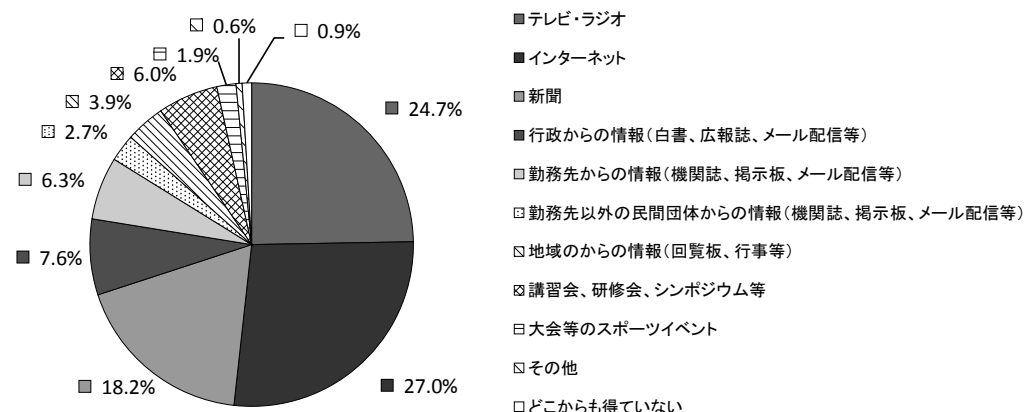
SDGs
(持続可能な開発目標: Sustainable Development Goals)



8. あなたは普段、環境問題や環境保護活動に関する情報を得るために、これまでに、主として活用してきた媒体はどれですか。(n = 7243)



9. あなたは普段、環境問題や環境保護活動に関する情報を得るために、現在、主として活用している媒体はどれですか。(n = 7243)



10. 自身の行動による環境への影響について、あなたはどのように考えますか。その深刻度についてお答えください。(n = 7243)

	とても深刻である (%)	深刻である (%)	あまり深刻ではない (%)	深刻ではない (%)	合計 (%)
【温室効果もたらす気候変動や地球温暖化】	50.4	38.0	9.0	2.7	100.0
【自動車等の排ガスによる大気汚染】	30.9	53.4	13.9	1.8	100.0
【海洋、河川、湖沼の水質汚染】	38.9	46.8	11.8	2.5	100.0
【土壌汚染】	25.0	50.5	20.3	4.1	100.0
【放射性物質による汚染】	38.9	36.9	17.4	6.8	100.0
【廃棄物排出量の増加】	41.9	47.4	8.5	2.3	100.0
【分解が困難なマイクロプラスチック(微小プラスチックごみ)による汚染】	50.3	38.8	8.7	2.2	100.0

11. 社会活動全体による環境への影響について、あなたが思う、地球レベルでみた各種環境問題の深刻度についてお答えください。(n = 7243)

	とても深刻である (%)	深刻である (%)	あまり深刻ではない (%)	深刻ではない (%)	合計 (%)
【温室効果をもたらす気候変動や地球温暖化】	65.1	28.5	5.1	1.3	100.0
【自動車等の排ガスによる大気汚染】	41.2	48.6	9.4	0.8	100.0
【海洋、河川、湖沼の水質汚染】	46.3	45.8	7.3	0.7	100.0
【土壌汚染】	33.5	50.8	14.7	1.0	100.0
【放射性物質による汚染】	45.1	38.8	14.1	2.0	100.0
【廃棄物排出量の増加】	49.3	44.6	5.5	0.6	100.0
【分解が困難なマイクロプラスチック(微小プラスチックごみ)による汚染】	58.0	35.6	5.5	1.0	100.0
【石炭や石油などのエネルギー資源の枯渇】	31.1	46.0	19.8	3.1	100.0
【森林などの天然資源の枯渇】	46.7	44.0	8.3	1.0	100.0
【動植物の絶滅危機】	41.7	45.8	11.3	1.2	100.0
【水資源の不足】	36.2	46.2	16.1	1.4	100.0
【砂漠化・土地荒廃】	36.1	47.9	14.6	1.4	100.0
【ヒートアイランド現象】	46.1	43.3	9.4	1.2	100.0

12. 社会活動全体による環境への影響について、あなたが思う、自身の生活においてすでに影響を受けている諸現象についてお答えください。(n = 7243)

	とても深刻である (%)	深刻である (%)	あまり深刻ではない (%)	深刻ではない (%)	合計 (%)
【温室効果をもたらす気候変動や地球温暖化】	32.9	43.4	18.8	4.9	100.0
【自動車等の排ガスによる大気汚染】	14.4	38.1	39.6	7.9	100.0
【海洋、河川、湖沼の水質汚染】	15.9	37.9	37.8	8.4	100.0
【土壌汚染】	9.7	29.5	48.4	12.4	100.0
【放射性物質による汚染】	14.2	25.1	43.4	17.2	100.0
【廃棄物排出量の増加】	16.1	39.9	35.1	8.9	100.0
【分解が困難なマイクロプラスチック(微小プラスチックごみ)による汚染】	19.7	35.0	35.7	9.6	100.0
【石炭や石油などのエネルギー資源の枯渇】	10.9	33.6	43.1	12.4	100.0
【森林などの天然資源の枯渇】	14.4	34.8	39.7	11.1	100.0
【動植物の絶滅危機】	13.7	31.3	41.2	13.8	100.0
【水資源の不足】	12.8	29.7	42.9	14.6	100.0
【砂漠化・土地荒廃】	10.0	27.4	44.8	17.8	100.0
【ヒートアイランド現象】	23.2	39.6	28.4	8.8	100.0

13. あなたは環境保護のために次のような取り組みを行っていますか。(n = 7243)

	積極的に 取り組んで いる(%)	取り組んで いる (%)	あまり取り組 んでいない (%)	まったく取り 組んでいない (%)	合計 (%)
【ゴミの分別】	66.4	32.4	1.1	0.1	100.0
【リサイクル／3R／再利用】	46.2	44.8	8.4	0.6	100.0
【レジ袋をもらわない/使わない】	59.4	32.2	7.1	1.3	100.0
【エコバッグを使用】	65.1	26.5	6.6	1.9	100.0
【公共交通機関を使う／車を使わない／自転車を使う／歩く】	15.0	25.1	46.2	13.6	100.0
【ゴミ拾い／清掃(ボランティアへの参加含む)】	13.1	37.3	38.2	11.3	100.0
【ゴミを減らす／ゴミを出さないようにする】	19.1	54.2	23.6	3.1	100.0
【ポイ捨てをしない】	78.1	19.9	1.1	0.8	100.0
【プラスチックを減らす／ペットボトルを買わない】	11.8	26.1	50.0	12.0	100.0
【マイボトル／マイストロー／マイ箸を使用】	19.4	31.9	33.3	15.4	100.0
【洗剤を使いすぎない】	12.1	42.1	38.4	7.4	100.0
【油を排水口に流さない】	36.0	41.8	18.5	3.7	100.0
【割り箸をもらわない(使わない)】	14.3	29.3	42.8	13.7	100.0
【ボランティアへの参加(清掃以外)】	12.1	27.4	40.9	19.7	100.0
【環境問題について学ぶ・調べる】	12.0	40.3	39.0	8.6	100.0
【食品ロス削減】	22.0	51.2	22.6	4.2	100.0

14. あなたはこれからの自然環境の「保護」と「開発」の関係について、どのように考えますか。
(n = 7243)

	とても そう思う (%)	そう思う (%)	あまりそう 思わない (%)	まったくそ う思わない (%)	合計 (%)
【環境保護はとても重要なので、生活の利便性や経済活動を犠牲にしてもやむを得ない】	20.2	52.3	24.9	2.6	100.0
【開発は必要なので、環境へ配慮をしながら慎重に進めるべきである】	25.3	59.5	13.4	1.9	100.0
【快適な生活や地域の活性化のために、今はまだ開発を優先して考えるべきである】	5.2	18.1	57.8	18.9	100.0
【自然環境の保護と開発のどちらが優先するかは一概にいけない】	13.6	43.6	30.0	12.8	100.0

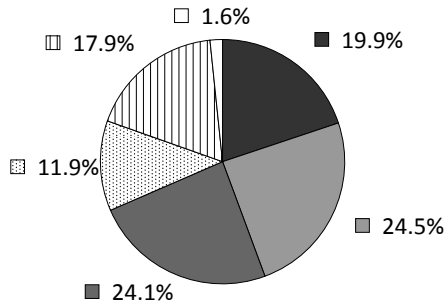
15. あなたは環境問題の解決策や改善策についてどのように考えますか。 (n = 7243)

	とても そう思う (%)	そう思う (%)	あまりそう 思わない (%)	まったくそ う思わない (%)	合計 (%)
【環境問題を解決・改善するためには、人の考え方や行動の変化が必要である】	56.8	42.0	1.1	0.2	100.0
【環境問題を解決・改善するためには、選手や指導者も含めたスポーツをする人の考え方や行動の変化も必要である】	33.0	54.6	11.5	0.9	100.0
【環境問題を解決・改善するためには、企業が積極的に対策を行う必要である】	54.3	42.9	2.6	0.2	100.0
【環境問題を解決・改善するためには、政府や自治体が積極的に対策を行う必要である】	63.0	35.1	1.7	0.2	100.0
【環境問題を解決・改善するためには、スポーツ団体も積極的に対策を行う必要である】	35.7	51.9	11.3	1.0	100.0

16. あなたは環境問題によるスポーツへの影響についてどのように考えますか。 (n = 7243)

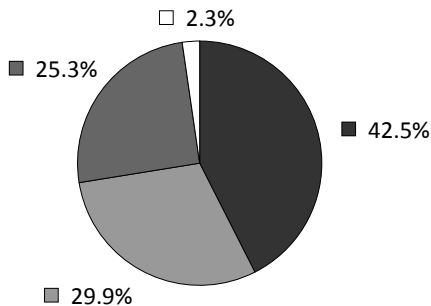
	とても そう思う (%)	そう思う (%)	あまりそう 思わない (%)	まったくそ う思わない (%)	合計 (%)
【地球温暖化が進行し、気温が上昇することにより、熱中症等になる危険性が高くなり、屋外で行うスポーツ活動の実施が困難になる】	48.5	42.8	7.8	0.9	100.0
【地球温暖化が進行し、気温が上昇することにより、空調の燃料費用がかさみ、屋内で行うスポーツ活動の実施が困難になる】	32.4	46.4	19.6	1.6	100.0
【地球温暖化が進行し、気温が上昇することにより、雪不足が深刻になり、雪上で行うスポーツ活動の実施が困難になる】	36.8	49.2	12.6	1.3	100.0
【大雨、台風など異常気象の多発により、海上・陸上競技の中断や中止となり、実施が困難になる】	34.4	49.6	14.7	1.2	100.0
【大気汚染が深刻化し、屋外でのスポーツ活動の実施が困難になる】	26.9	46.9	24.3	1.9	100.0
【水質汚染が深刻化し、水上・水中で行うスポーツ活動の実施が困難になる】	25.0	47.6	25.5	1.9	100.0
【森林などの天然資源が枯渇し、競技場の建設や改修が困難になる】	18.6	41.2	36.3	3.9	100.0
【石炭や石油などのエネルギー資源が枯渇し、スポーツの実施自体が困難になる】	17.0	36.7	40.6	5.8	100.0

17. あなたはスポーツにおける環境問題や環境保護活動に関する課題や対策について、日本スポーツ協会（JSPO）に何を求めますか。（n = 7243）⁶⁾



- イベントや事務局の運営において具体的な対策を取ってほしい
- 最新の情報を提供してほしい
- ガイドラインや啓発資料を作成し周知してほしい
- 研修会を開催してほしい
- スポーツ選手やスタッフへの啓発をしてほしい
- その他

18. あなたはスポーツにおける環境問題や環境保護活動に関する課題や対策について、どのような方法で情報提供を求めますか。（n = 7243）⁷⁾



- 情報誌「Sport Japan」に情報を掲載する
- 資格取得・更新のための研修会の内容に含める
- 啓発資料を作成し配布する
- その他

引用文献

- 1) 公認スポーツ指導者数. 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度
<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/248.html>
 競技資格別登録者数（2020年10月1日現在）は下記を参照
https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/katsudousuishin/doc/20201001_tourokusha_events.pdf
- 2) 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度
https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/katsudousuishin/doc/shidousha_seido_20200401.pdf
- 3) 公益財団法人日本スポーツ協会加盟団体規程
https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/somu/doc/kameidantaikitei_R2.4.1.pdf
- 4) プレーヤーズセンタードとは、プレーヤーを取り巻くアントラージュ自身も、それぞれのWell-being（良好・幸福な状態）を目指しながら、プレーヤーをサポートしていくという考え方である。
- 5) 日本体育協会・日本オリンピック委員会創立百年記念 スポーツ宣言日本 二十一世紀におけるスポーツの使命
https://www.japan-sports.or.jp/portals/0/data0/uploadFiles/20110804142538_1.pdf
- 6) 「その他」のうち、JSPOには何も求めていない、あるいはJSPOが対応すべき問題ではないという趣旨の自由回答が23件あった。
- 7) 「その他」のうち、JSPOには何も求めていない、あるいはJSPOが対応すべき問題ではないという趣旨の自由回答が36件あった。

スポーツにおける環境問題・環境保護活動に関する意識調査

《調査へのご協力をお願い》

- 本調査は、公益財団法人日本スポーツ協会に登録する公認スポーツ指導者を対象として行われます。
- 本調査は、公認スポーツ指導者の皆様が環境問題や環境保護活動に対するお考えについて把握することによって、今後の活動に役立てようとするものです。
- 調査結果は統計的に処理されますので、回答者が特定されることはありません。
- 調査結果は学会発表や論文など、学術的な目的に使用することがあります。
- この調査への回答は任意ですので、どうしても回答したくない場合には回答しなくて結構です。
- 調査への協力や回答内容が、回答者の評価に影響することはありません。
- 調査にご協力いただける場合は、回答もれのないようすべての質問にお答えください。

《回答方法》

- 本調査における回答方法は、以下の2種類です。
 - あてはまるものを選択するもの
 - 具体的な数字や文字を記入するもの

問 1. あなたの性別についてうかがいます。ここでは、あなたが自認する性別をお知らせください。

1. 女性
2. 男性
3. その他 ()

問 2. 現在の年齢をお知らせください。

() 歳

問 3. あなたの最終学歴をお知らせください。

1. 中学校卒業
2. 高等学校卒業
3. 短期大学、高等専門学校卒業
4. 大学卒業
5. 大学院修士課程（博士前期課程）修了
6. 大学院博士後期課程修了
7. その他

問 4. あなたの職業をお知らせください。

1. 自営業
2. 会社員（総合職/行政職/一般職）
3. 会社員（技術職）
4. 会社員（研究職）
5. 会社役員
6. 公務員（総合職/行政職/一般職）
7. 公務員（技術職）
8. 公務員（研究職）
9. 団体職員（総合職/行政職/一般職）
10. 団体職員（技術職）

11. 団体職員（研究職）
12. 団体役員
13. 国立・公立学校教員
14. 国立・公立学校職員
15. 私立学校教員
16. 私立学校職員
17. 大学生
18. 大学院生
19. パート/アルバイト
20. 主夫/主婦
21. 無職
22. その他（ ）

問 5. あなたが在住している都道府県をお知らせください。

※ ドロップダウンから選択

問 6. あなたが現在取得している指導者資格の名称をお知らせください。（複数回答可）

1. コーチ 1（旧：指導員） →問 7 へ
2. コーチ 2（旧：上級指導員） →問 7 へ
3. コーチ 3（旧：コーチ） →問 7 へ
4. コーチ 4（旧：上級コーチ） →問 7 へ
5. 教師 →「リード文」へ
6. 上級教師 →「リード文」へ
7. スポーツプログラマー →「リード文」へ
8. フィットネストレーナー →「リード文」へ
9. ジュニアスポーツ指導員 →「リード文」へ
10. アスレティックトレーナー →問 8 へ
11. スポーツドクター →問 8 へ
12. スポーツデンティスト →問 8 へ
13. スポーツ栄養士 →問 8 へ
14. アシスタントマネジャー →「リード文」へ
15. クラブマネジャー →「リード文」へ
16. コーチングアシスタント →「リード文」へ
17. （旧資格）スポーツトレーナー →「リード文」へ
18. スタートコーチ →「リード文」へ
19. その他（ ） →「リード文」へ

問 7. あなたが現在取得している競技別指導者資格のうち、あなたの中で最も位置づけが高い競技の名称を一つお知らせください。

競技名（ ）

問 8. 競技別指導者資格保持者としてあなたがこれまでに競技者を出場させた、もしくは、メディカル・コンディショニング資格保持者としてチームに帯同した最高レベルの大会やリーグについて、あてはまる番号を 1 つ選んでください。あまり競争的ではない競技で判断に迷う場合は「その他」を選んでください。

1. 国際レベル
2. 全国レベル
3. ブロックレベル（“東北ブロック大会” など）
4. 都道府県レベル
5. 市区町村レベル

- 6. その他
- 7. 出場させていない/帯同していない

リード文.

ここからは皆様ご自身に対するお考えや経験についてうかがいます。正解があるわけではありませんので、皆様ご自身のお考えを率直にお知らせください。

問 9. あなたは環境問題や環境保護活動に関心はありますか。

<4 非常に関心がある 3 やや関心がある 2 あまり関心がない 1 まったく関心がない>

問 10. あなたはこれまでにスポーツと環境問題や環境保護活動の関係性について考えたことはありますか。

- 1. ある
- 2. ない

問 11. あなたは次の言葉を知っていますか。

- ・ 国連環境計画 (United Nations Environment Programme : UNEP)
- ・ 持続可能性 (サステナビリティ)
- ・ SDGs (持続可能な開発目標 : Sustainable Development Goals)
- ・ ISO14000 (規格群)
- ・ カーボン・オフセット (カーボン・ニュートラル)

<3 (文言の) 説明ができる 2 聞いたことはある 1 知らない>

問 12. あなたは普段、環境問題や環境保護活動に関する情報を得るために、これまでに、主として活用してきた媒体はどれですか。(複数選択可)

- テレビ・ラジオ
- インターネット
- 新聞
- 行政からの情報 (白書、広報誌、メール配信等)
- 勤務先からの情報 (機関誌、掲示板、メール配信等)
- 勤務先以外の民間団体からの情報 (機関誌、掲示板、メール配信等)
- 地域のからの情報 (回覧板、行事等)
- 講習会、研修会、シンポジウム等
- 大会等のスポーツイベント
- その他 ()
- どこからも得ていない

問 13. あなたは普段、環境問題や環境保護活動に関する情報を得るために、現在、主として活用している媒体はどれですか。(複数選択可)

- テレビ・ラジオ
- インターネット
- 新聞
- 行政からの情報 (白書、広報誌、メール配信等)
- 勤務先からの情報 (機関誌、掲示板、メール配信等)
- 勤務先以外の民間団体からの情報 (機関誌、掲示板、メール配信等)
- 地域のからの情報 (回覧板、行事等)
- 講習会、研修会、シンポジウム等

- 大会等のスポーツイベント
- その他 ()
- どこからも得ていない

問14. 自身の行動による環境への影響について、あなたはどのように考えますか。その深刻度についてお答えください。

- ・ 温室効果をもたらす気候変動や地球温暖化
- ・ 自動車等の排ガスによる大気汚染
- ・ 海洋、河川、湖沼の水質汚染
- ・ 土壌汚染
- ・ 放射性物質による汚染
- ・ 廃棄物排出量の増加
- ・ 分解が困難なマイクロプラスチック（微小プラスチックごみ）による汚染

<4 とても深刻である 3 深刻である 2 あまり深刻ではない 1 深刻ではない>

問15. 社会活動全体による環境への影響について、あなたが思う、**地球レベルでみた各種環境問題の深刻度**についてお答えください。

- ・ 温室効果をもたらす気候変動や地球温暖化
- ・ 自動車等の排ガスによる大気汚染
- ・ 海洋、河川、湖沼の水質汚染
- ・ 土壌汚染
- ・ 放射性物質による汚染
- ・ 廃棄物排出量の増加
- ・ 分解が困難なマイクロプラスチック（微小プラスチックごみ）による汚染
- ・ 石炭や石油などのエネルギー資源の枯渇
- ・ 森林などの天然資源の枯渇
- ・ 動植物の絶滅危
- ・ 水資源の不足
- ・ 砂漠化・土地荒廃
- ・ ヒートアイランド現象

<4 とても深刻である 3 深刻である 2 あまり深刻ではない 1 深刻ではない>

問16. 社会活動全体による環境への影響について、あなたが思う、**自身の生活においてすでに影響を受けている諸現象**についてお答えください。

- ・ 温室効果をもたらす気候変動や地球温暖化
- ・ 自動車等の排ガスによる大気汚染
- ・ 海洋、河川、湖沼の水質汚染
- ・ 土壌汚染
- ・ 放射性物質による汚染
- ・ 廃棄物排出量の増加
- ・ 分解が困難なマイクロプラスチック（微小プラスチックごみ）による汚染
- ・ 石炭や石油などのエネルギー資源の枯渇
- ・ 森林などの天然資源の枯渇
- ・ 動植物の絶滅危
- ・ 水資源の不足
- ・ 砂漠化・土地荒廃
- ・ ヒートアイランド現象

<4 とても深刻である 3 深刻である 2 あまり深刻ではない 1 深刻ではない>

問17. あなたは環境保護のために次のような取り組みを行っていますか。

- ・ ゴミの分別
- ・ リサイクル/3R/再利用
- ・ レジ袋をもらわない/使わない
- ・ エコバッグを使用
- ・ 公共交通機関を使う/車を使わない/自転車を使う/歩く
- ・ ゴミ拾い/清掃（ボランティアへの参加含む）
- ・ ゴミを減らす/ゴミを出さないようにする
- ・ ポイ捨てをしない
- ・ プラスチックを減らす/ペットボトルを買わない
- ・ マイボトル/マイストロー/マイ箸を使用
- ・ 洗剤を使いすぎない
- ・ 油を排水口に流さない
- ・ 割り箸をもらわない（使わない）
- ・ ボランティアへの参加（清掃以外）
- ・ 環境問題について学ぶ・調べる
- ・ 食品ロス削減

<4 積極的に取り組んでいる 3 取り組んでいる 2 あまり取り組んでいない 1 まったく取り組んでいない>

問18. あなたはこれからの自然環境の「保護」と「開発」の関係について、どのように考えますか。

- ・ 環境保護はとても重要なので、生活の利便性や経済活動を犠牲にしてもやむを得ない
- ・ 開発は必要なので、環境へ配慮をしながら慎重に進めるべきである
- ・ 快適な生活や地域の活性化のために、今はまだ開発を優先して考えるべきである
- ・ 自然環境の保護と開発のどちらが優先するかは一概にいえな

<4 とてもそう思う 3 そう思う 2 あまりそう思わない 1 まったくそう思わない>

問19. あなたは環境問題の解決策や改善策についてどのように考えますか。

- ・ 環境問題を解決・改善するためには、人の考え方や行動の変化が必要である
- ・ 環境問題を解決・改善するためには、選手や指導者も含めたスポーツをする人の考え方や行動の変化も必要である
- ・ 環境問題を解決・改善するためには、企業が積極的に対策を行う必要である
- ・ 環境問題を解決・改善するためには、政府や自治体が積極的に対策を行う必要である
- ・ 環境問題を解決・改善するためには、スポーツ団体も積極的に対策を行う必要である

<4 とてもそう思う 3 そう思う 2 あまりそう思わない 1 まったくそう思わない>

問20. あなたは環境問題によるスポーツへの影響についてどのように考えますか。

- ・ 地球温暖化が進行し、気温が上昇することにより、熱中症等になる危険性が高くなり、屋外で行うスポーツ活動の実施が困難になる
- ・ 地球温暖化が進行し、気温が上昇することにより、空調の燃料費用がかさみ、屋内で行うスポーツ活動の実施が困難になる

- 地球温暖化が進行し、気温が上昇することにより、雪不足が深刻になり、雪上で行うスポーツ活動の実施が困難になる
- 大雨、台風など異常気象の多発により、海上・陸上競技の中断や中止となり、実施が困難になる
- 大気汚染が深刻化し、屋外でのスポーツ活動の実施が困難になる
- 水質汚染が深刻化し、水上・水中で行うスポーツ活動の実施が困難になる
- 森林などの天然資源が枯渇し、競技場の建設や改修が困難になる
- 石炭や石油などのエネルギー資源が枯渇し、スポーツの実施自体が困難になる

<4 とてもそう思う 3 そう思う 2 あまりそう思わない 1 まったくそう思わない>

問 21. あなたはスポーツにおける環境問題や環境保護活動に関する課題や対策について、日本スポーツ協会（JSPO）に何を求めますか。（複数回答可）

- イベントや事務局の運営において具体的な対策を取ってほしい
- 最新の情報を提供してほしい
- ガイドラインや啓発資料を作成し周知してほしい
- 研修会を開催してほしい
- スポーツ選手やスタッフへの啓発をしてほしい
- その他（ ）

問 22. あなたはスポーツにおける環境問題や環境保護活動に関する課題や対策について、どのような方法で情報提供を求めますか。（複数回答可）

- 情報誌「Sport Japan」に情報を掲載する
- 資格取得・更新のための研修会の内容に含める
- 啓発資料を作成し配布する
- その他（ ）

以上で調査は終了です。

ご協力ありがとうございました。